

Debbie Swenson, a forty-year-old woman from Kansas, **confessed** [that she had invented Kaycee and written all the diary entries herself].  
 The FBI even looked into the case, / but determined [that / because Debbie Swenson hadn't gained money from the hoax / she hadn't actually committed a crime / [which was serious enough to take her to court]].

内容Check!

問 次の各文が正しければ ( ) に○を, 誤っていれば×を記入しなさい。

1. People who participated in Kaycee's funeral became suspicious of her mother. ( )
2. Kaycee was in fact the creation of a woman named Debbie Swenson. ( )
3. Finally Debbie Swenson was arrested by the FBI for cheating so many people. ( )

覚えておきたい表現

Nor+助動詞または be 動詞+S 「また…でもない」

ℓ.6 : **Nor** could anyone remember ever having met Kaycee in person. 「これまでケイシー本人に会ったという記憶のある人も誰もいなかった。」

・Nor+助動詞または be 動詞+S 「また…でもない」: 前の否定文を受け, 「また…でもない」と否定が重なる意味を表す表現。nor が強調のために文頭に置かれ, 倒置文になる。本文では Kaycee's death had not been recorded ... を受けている。この文では助動詞 could が主語 anyone の前に出て倒置文になっている。

whenever ~, ... 「～する時はいつも…」

ℓ.12 : **Whenever** anyone had thought that they were e-mailing Kaycee, it was actually Debbie they were communicating with. 「誰もがケイシーに電子メールを送っていたと思っていた時はいつも, 彼らが連絡を取っていたのは実はデビーだった。」

・whenever ~, ... 「～する時はいつも…」: no matter when ~, ... と書き換えられる。

Ex. **Whenever** [No matter when] he went out, it rained. 「彼が出かける時はいつも雨が降った。」

～ (形容詞・副詞) enough to do 「…するほど～」

ℓ.21 : she hadn't actually committed a crime which was serious enough to take her to court 「彼女を法廷へ連れて行く〔起訴する〕ほど重大な犯罪を実際には犯したわけではない」

・～ (形容詞・副詞) enough to do 「…するほど～」: enough は「十分な」という意味で, 「to 以下をするのに十分～」という意味。～には形容詞や副詞がくるが, enough の前に置くことに注意。

Ex. The boy was wise enough to hold his tongue. 「その少年は口をつぐむほど利口だった〔その少年は十分利口だったので, 口をつぐんでいた。〕」

整理しよう! \*段落要旨・構造\*

① ケイシーの存在への疑念の浮上

- (その理由)
- ・ケイシーの母親は, 葬式の場所も贈り物の送り先も教えなかった。
  - ・どの死亡広告にもケイシーの死亡記事が載っていなかった。
  - ・誰もケイシー本人に会ったことはなかった。

② デビー・スウェンソンの告白

- ケイシーの存在は自分が創り出したと告白。
- ・ケイシーの写真: ある隣人の写真を無断で転用。
  - ・日記やメール: すべてデビーがケイシーになりすまして書いていた。

③ デビー・スウェンソンの主張と連邦捜査局 (FBI) の捜査

- ・ケイシーはある意味では実在の人物だと主張。
- (その理由): ケイシーの人格は自分が知っているがん患者を組み合わせたものだから。
- ・日記の読者たち: 親切心や同情心を利用して, だまされたと感じた。
  - ・FBI の結論: デビーは何も利益を得ていないので, 犯罪とは言えない。

背景知識

●インターネット上で情報が誤って伝わるリスクが高い理由

インターネット上では, 従来のコミュニケーション手段と比べ, 情報が誤って伝わるリスクが高い。ある人が他の人に何かを伝えようとする場合, 文字・音声・映像といった記号を媒介にして伝える。そうした「記号」のうち, 特に言葉を用いる場合は, それを目にした(あるいは耳にした)他人がいったん記憶に貯蔵した後で別のの人にそれを伝えると, 誤りが混入することがある。これによって最初に言葉を発した人の意図とは食い違った情報が流布する場合がある。ネット上での情報発信の場合には, このような「記号」が誤って伝わるおそれが一層高まるのだとされる。

かつて情報発信者は, 多くの場合評論家といった肩書を持つ人に限られており, しかも一定の共通了解が形成されていた空間で情報発信していたため, 自分の発言が誤って伝わるリスクを抑えることができた。しかし, 膨大な情報を手軽に閲覧することが可能となったインターネット社会では, 例えばブログや SNS のように, 誰もが情報発信者になることが容易であるにもかかわらず, 情報を目にすることができる人の数が莫大なため, 発言が誤って伝わるリスクは必然高くなるということなのである。

深めたい人に: 荻上チキ『ウェブ炎上— ネット群衆の暴走と可能性』(筑摩書房, 2007年)